

思い出の二日間

少年少女つどい大会

八月十、十一日の二日間、公民館と町体育館を会場にして、町内の小学校六年生、八十名の参加による青少年相談員連絡協議会主催の少年少女つどい大会が開かれました。

一泊二日の楽しいつどいを体験した子供たちの感想をご紹介します。



小 陽 東
鈴木康哲

八月十日にはじまった、つどい大会、ほかの小学校の人たちとあうのが不安だった。でも、何分かすると、ある人数の人とは気軽に話しが出来るようになった。

いろいろなゲームなどをしてあそんだりした。

すんげきやかそうぎょうれつなどの時は新聞紙を切ったり、はったりしてふくなどを作った。

夕食はカレーだった。ぼくは二はい食べた。まとはくんが四はい食べたのでみんな「すこい



小 南 条
斉藤恵美子

私は、このつどい大会は、今年で二年目です。光町中の小学校から来る友達と仲良くなれるという事は、これから中学校で友達をつくる時に、とても有利です。いくら前々から顔見知りだとしても、この大会でいっしょに遊べるという事は最も友情

ね」といつてわらっていた。

夕食を食べおわると、あとのたのしみは七時からの「すんげき」と「かそうぎょうれつ」だった。青少年そうだんいんの秋葉さんが手伝ってくれたのでよくできた。ほかの班の人は自分のよりよっぽどじょうずだなと思った。

おわってからそうじをして、ぼくたちがねるへやへ行った。

あんがひひろくて、おもしろかった。ほかの人からゲームなどをかりたりして十時五十分ご

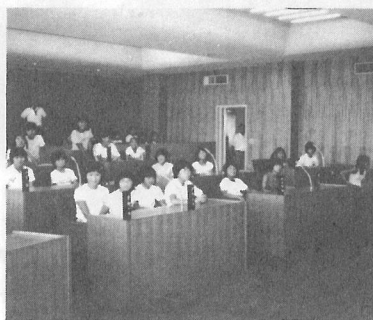
を深めるもどかと思えます。

この大会では、いろいろなゲームなども新しくわかる事ができ、とっても楽しいです。

十日の晩では、何時になっても、人に注意されても静かにしなかつた事が私の反省です。

本当に、この大会では知らず知らずのうちに新しい友をつくる事ができたので、とってもうれしいです。

この大会で覚えた事は、中学になっても役立てようと思えます。



ろまでおきていた。

次の日は、六時から野球に行った。帰ってきてからごはんをたべてまたゲームをした。

班対こうでやった、八月十、十一日の二日間はとてもおもしろかった。

友だちなども出来たので中学に行ったらなかくしたいと思



小 日 吉
伊橋宏美

このつどい大会に参加してとくによかつたことは、友達がたくさんできたことです。

始めは、ちがう学校の人には、全然声もかけなかつたのに今は、もうなかよしになつてしまいま

した。とくに、同じはんの人でかそう大会やすんげき、はん対こうのゲームや歌でいつのまに



小 白 浜
鈴木由美子

「つどいでやるゲームというのは、とても楽しいな」と、思

うようになったのは、やっぱり新しい友達と遊べるということと、みんな、できるといいうゲームだったからだと思う。

行く前には「ゲームといつてもそんなにもしろくないだろう」と思っていた。

それは、組の人は、よくみんなんで遊んでとても楽しいけど、

かいろいろお話をしても楽しかつたです。

また、いろんな人に住所や名前、電話番号なども聞きました。それから役場の中なども見せていただいて、とてもよかつたです。

夜、ねる時もみんないっしょで、ふざけたり、わらつたりおもしろくて、ずいぶんおそくまでおきていました。朝になつてみんなでラジオ体操をしました。

とてもたのしい二日間でした。夏休みの思い出としていつまでものこしたいと思えます。

知らない友達どうしたと話しかけてはくれないだろうと思つていたからだ。けれど知らない人とゲームをやるということは、友達になれるきっかけだからうれしい。実際にゲームをやる知らない友達と話が合つて仲よくなつたりした。

友達と話ができたからゲームが楽しくなつたということと、相談員の人達などが、わたしたちに合つたゲーム、楽しくできるゲームを選んでくれたからだ。

食事のこんだてで、わたしたちに合つた食べ物を選び、それを作ってくれたから楽しく食べる事ができた。だから、